



今年も摂津にサクラ咲く

今年も桜を楽しめる季節となりました。次ページで公園など市内の桜スポットを紹介します。

新幹線公園に展示している0系と電気機関車は外装修繕を終え、きれいになりました。公園までの川沿いの道は、桜のトンネルが400m続きます。

★展示車両の内部公開 5月までの毎週日曜日と5月5日のこどもの日の午前10時～12時・午後2時～4時 ※3～5月以外は毎月第2・第4日曜日



▲外装修繕を終えた初代0系新幹線車両

もくじ

4～5…………… 市内の桜マップ

6～11…………… 【特集】未来への新たな一歩

6…………… 平成29年度 市政運営の基本方針 7…………… 予算

8～11…………… 主要事業

- | | | | |
|------------|------------------------------------|-------------------|---------------|
| 12～31…………… | ■ お知らせ／募集 (12～14) | ■ 相談 (15) | ■ 健康 (16～17) |
| | ■ 公民館・コミセン (18～19) | ■ スポーツ・文化 (19～20) | ■ 図書館 (21) |
| | ■ 児童センター、男女共同参画センター、教育、その他 (22～23) | | |
| | ■ 福祉 (24) | ■ 産業振興 (25) | ■ 子育て (26～27) |
| | ■ 地域／市民活動 (28～29) | ■ ごみ・資源 (30) | |

※表紙の写真は、新幹線公園（安威川南町）の桜並木

美しい摂津のまちへ

美化ボランティア制度 スタート

市は、4月から、自主的に地域の清掃活動に取り組み人たちをPRし、まち全体で美化活動への取り組みを呼びかける「美化ボランティア制度」をスタートしました。ボランティアに登録した人にはオリジナルジャンパーを配布。活動時に着用してもらい、地域の美化活動を盛り上げていきます。

登録は、個人だけでなく市内の事業者や団体に所属している人も対象です。希望者は市役所4階・環境政策課 ☎06(6383) 1364 までお申込みください。

さらなる復興へ支援

釜石市に復興への支援金を寄附



▶釜石市・野田武則市長

3月17日、市は、東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県釜石市に、復興への支援として300万円を寄附しました。釜石市への寄附は平成25年から毎年行っており、今回で5回目です。

同日、釜石市役所で摂津市からの派遣職員が「復興がさらに力強く進められ、まちが活性化することを願っています」と森山一正市長のメッセージを代読し、野田武則・釜石市長に寄附の目録を贈呈しました。

目録を受け取った野田市長は「心温まるメッセージと寄附に大変感謝しています。一人一人が復興の歩みを実感できるように今後も全力を尽くして取り組んでいきます」と話しました。

本市は毎年、釜石市への職員派遣のほか、農業祭の売り上げの寄附などを行っており、今後も復興と防災に向けた交流を続けていきます。

生き抜く力を育む

普段の授業で教える防災 小中学校で新年度から

市と市教育委員会が作成を進めていた「防災教育の手引き」が、3月に完成しました。新年度からは、同手引きを基に、小中学校の普段の授業に、防災を組み込んでいきます。

手引きは、大規模災害においても命を守り、子どもたちの生き抜く力を育む防災教育を進めていくため、2年をかけて作成したものです。作成にあたって手本としたのは、東日本大震災の時、小中学生がほぼ全員避難できた釜石市の防災教育です。手引きにより、学校教育の9年間で、防災



▲昨年11月に行われた鳥飼東小でのモデル授業

市と市教育委員会が作成を進めていた「防災教育の手引き」が、3月に完成しました。新年度からは、同手引きを基に、小中学校の普段の授業に、防災を組み込んでいきます。

市と市教育委員会が作成を進めていた「防災教育の手引き」が、3月に完成しました。新年度からは、同手引きを基に、小中学校の普段の授業に、防災を組み込んでいきます。

市と市教育委員会が作成を進めていた「防災教育の手引き」が、3月に完成しました。新年度からは、同手引きを基に、小中学校の普段の授業に、防災を組み込んでいきます。